

ほけんだより



12月

2021年12月1日(水)和歌山市立西脇小学校

11月後半から、朝・晩の冷え

込みがれが厳しくなってきましたね。空気も乾燥してきて、咳や頭痛等の風邪症状を訴える子も増えました。感染症の流行しやすい季節です。感染対策をしっかり行い、予防していきましょう。



寒いけれど続けてほしいこと

てあらい

かんき

水が冷たくなってきて、手洗いがあろそかになってしまいますか？また、「寒いから、窓は開けないで」と換気もあろそかになってしまいますか？手洗いと換気は、感染症予防の基本です。寒さに負けず、しっかり続けていきましょう。

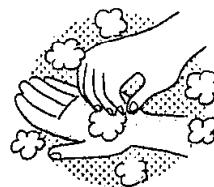


忘れないで!

手洗いの“ウイークポイント”

指先と爪の間

→反対の手のひらに
爪を立て、こする



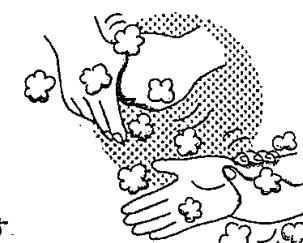
指と指の間

→両手の指を組み合わせて動かす。



手首：親指

→反対の手で
握るように持ち、ねじる



せっかく手洗いをしても、ウィルスや菌を洗い流せていなければ、意図がなくなってしまいます。洗い残しがやすい所を意識して、確実な感染症予防をしていきましょう。

かさねぎじょうずに
なろう！



何枚か重ね着をして、暑くなったら脱ぎ、寒くなったら着る等、上手に体温調整で、冬のようにしましょう。

体調不良等で保健室に来た

この体温測定をしていると、温かいようなトレーナー等の中に何も着ていない子がけっこります。薄い肌着を1枚、中に着るだけです。寒さを和らげてくれます。冬の季節も換気を続けていくので、